

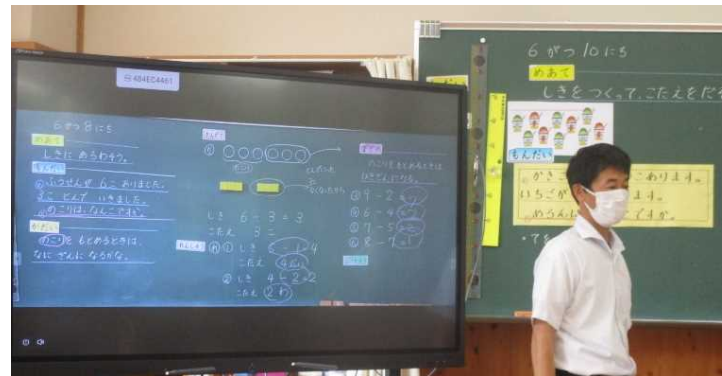
取組概要

直川小学校では、育成を目指す資質・能力を「課題解決能力」「情報活用能力」「表現力」として設定し、「自ら学び、自ら考え、自ら表現できる子の育成」を研究主題として、各教科等におけるICTを活用した授業づくりや遠隔交流を進めるとともに、地域と連携した教育活動及び児童会を主体とした体力向上、読書活動の取組を推進している。

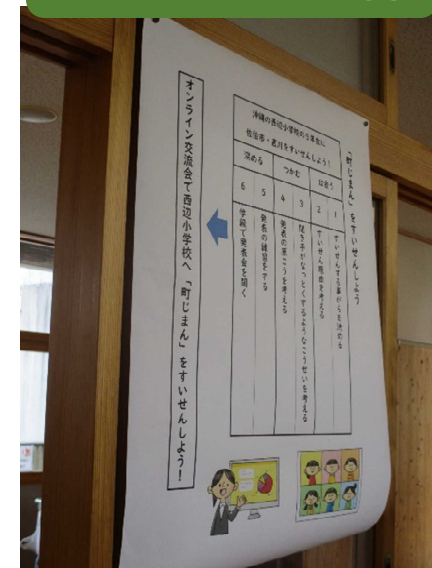
工夫・ポイント

- ◆ICT活用状況を調査して学校としての課題を明らかにしている。「トライ＆エラー」とにかくどんどん使って慣れよう」を合言葉に取組を進めている。活用推進に当たっては、「一単元の、一授業の、どこでどのように使うか計画を立てて、効果的に活用」することを意識付けている。
- ◆家庭・地域に対して、ICT活用・推進の必要性を管理職が説明し、PTAでICT研修を実施したり、ICT支援員を活用したりするなどの取組を進めている。

前時の板書を提示して、本時との違いを確認



オンライン交流会を位置付けた国語の学習計画



特徴的な活動

- ◆ICT活用場面を月ごと・教科ごと・学年ごとにまとめた計画表を作成している。その中には、遠隔交流の予定・相手校も明記し、例えば国語の単元計画にオンライン交流を位置付けている。
- ◆毎週水曜日に端末を持ち帰り、タブレットドリル等の活用を進めている。

発表の仕方カードを全員に



デジタル教科書の活用



関係者の声

- ◆地域とともに、持続可能な学校運営を進めるために、ICTを活用した学びを推進していくことがポイントになる。
- ◆表現力の育成に向けて、「考え方カード」や「発表の仕方カード」の発達段階を踏まえた活用を検討していくことも考えられる。